

社会科部門

☆総評☆

今年も多数の力作が寄せられました。中でも実際に体験して、自分なりの結論を導き出している作品に高い評価が集まりました。一つのテーマを数年かけて研究した深みのある労作も増えています。また、米・水不足、人権・福祉問題など、現代的なテーマを扱った作品が目立ちましたが、既成の資料に頼りすぎて未消化に終わった研究が多く、小学生はやや背伸びしすぎの感があります。人事ではなく自分の問題として取り組む姿勢が大切です。逆に中学生は、もう一歩踏み込んで、行政や歴史をふまえた考察も必要でしょう。

文部大臣奨励賞

「たまご大好き」

東京都東京学芸大学附属

小金井小学校

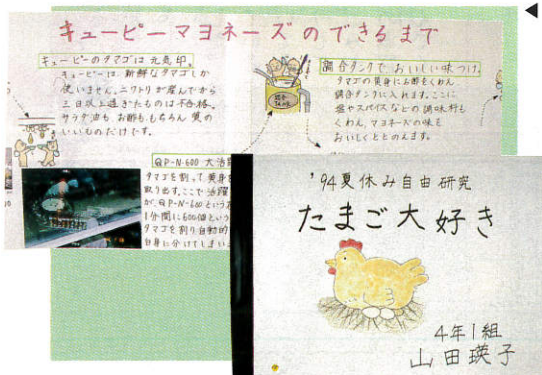
四年 山田 瑛子



毎日食卓に並ぶ大好きなたまご。そのたまごをくわしく調べています。
にわたりの体内でたまごができる仕組みに始まり、人間とのかかわりの歴史を経て、現在の養鶏場の様子やたまごの加工品にまで研究を発展させました。

研究方法としては、養鶏場で苦勞話を聞いたり、マヨネーズ工場での加工の現場を見たりと、自分で歩いて調べています。また、お店で買った様々な種類のたまごの味を比べたり、冷蔵庫と室温での腐り方の違いを三週間かけて調べたりもしています。
そして結論では、研究を通して、食べ物の大切さを再確認しています。

「たまごが大好き」という山田さんの気持ちに伝わってくる、楽しい作品です。
何軒もの養鶏場に見学に行ったり、時間のかかる実験に取り組んだりするなど、自分の力で研究する姿勢に好感が持てました。
また、動機からまとめまで構成がしっかりとおり、写真に加えて楽しいイラストを散りばめるなど、表現力も優れています。
身近な題材に着目して、興味の幅を広げていった好例です。

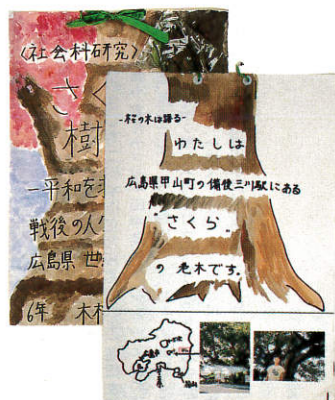


優秀賞

「ホストファミリートビックス」
柳津小四年 川上真奈美



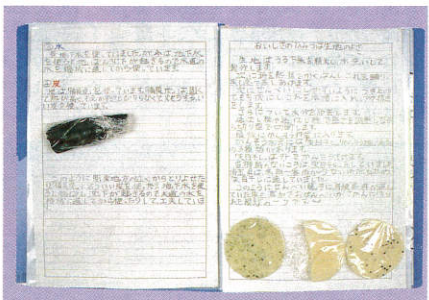
カナダから21才の留学生がホームステイにやってきた時の体験をもとにした作品。髪の色が違いためシャンプーまで違ったりと、異文化に接した新鮮な驚きと喜びが率直に伝わってきます。絵や写真を上手に利用し読ませる作品に仕上がっています。



「さくらの樹の下に一平和を求めて」
広島県甲山町立中央小
6年 木村有壮

第二次世界大戦の終戦記念日に植えられた1本のさくらの木を通して、自分の住んでいる町の今と昔を追っています。
さくらが語る、という形式をとったり、水彩画を多用したりと、今までにない映像的な表現方法も注目を集めました。

地道に、歩いて資料を集めた労作です。



「せんべいのルーツ」といししの秘密を探る」
埼玉県草加市立草加小
5年新井智宏・杉山あき彦・松本昇也・白鳥由香・長瀬恵美・森川 緑

地場産業の草加せんべいを取り上げ、ルーツから味にまでこだわった、ユニークな作品です。

見る人がわかりやすい工夫がされており、自分たちが楽しんで研究している様子がうかがえました。

その他の受賞作品

◆優良賞 「沖縄たんけん絵地図」(東京学芸大学附属小金井小三年) 高橋彩紗
(岐阜市立長良西小三年) 林利樹
「戦争のおそろしさを知る」(柳津町立柳津小五年) 森由佳 「方言パンザイ」(甲山町立中央小六年) 山口光治 「獣医学」(岐阜市立長良中三年) 岩田三咲
◆佳作 「万尺川の研究」(瑞浪市立瑞浪小三年) 近藤裕介 「動物病院体験記」PART4 乗馬クラブ編
(大阪教育大学教育学部附属天王寺小四年) 網木麻帆 「真実文楽をさぐる」(真正町立真桑小六年) 守屋聡美・杉山裕美 「地球は今SOS!」(柳津町立柳津小六年) 梅田志乃 「コマ戦争」お米大研究2」(柳津町立柳津小六年) 加藤しづ香 「古墳時代(タイムスリップ)」(柳津町立柳津小六年) 福井千穂 「私は米評論家」(柳津町立柳津小六年) 後藤亜季子 「その時何がおきたか」(柳津町立柳津小六年) 荒木雅也
「人の世に熟あれ、人間に光あれ」私の体験からの同和問題」(岐阜市立長良中三年) 伊藤尚子 「老人福祉問題に積極的になる」(茅ヶ崎市立鶴崎中三年) 峯村亮樹